

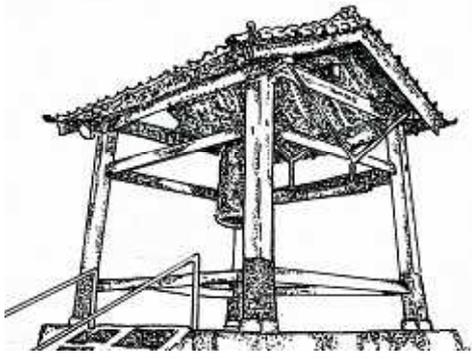
消防署だより

名所 歴史紹介

久居署の巻

久居幸町にある津市の指定文化財である「子午の鐘」をご紹介します。

江戸時代の寛文九年（一六六九年）、藤堂高通によって久居藩が開かれました。当時は城内で時刻を知らせるために太鼓や鐘が使用されており、この子午の鐘も時を知らせる鐘として、また時には火事の発生を知らせる鐘として、元文元年（一七三六年）に鑄造されました。作者は津の名鑄物師の辻越後藤原種茂です。大きさは総高一三八センチメートル、口径九二センチメートルで現在の鐘は



子午の鐘(久居幸町)

二代目です。当初は城内（久居東鷹跡町）へ置かれていましたが、寛政元年（一七八九年）に城外（現在の久居幸町）へ移されました。

その後、太平洋戦争の時には一度軍へ供出されましたが、終戦後、旧津市内に放置された状態で発見され、住民の手によって現在地へ戻されています。また、伊勢湾台風の際には、鐘楼が崩れて鐘も落下していますが、後に再建されています。

このように、「子午の鐘」は幾度かの危機を乗り越え、現在に至っています。今では、地元の自治会が管理して、時の記念日（六月十日）と大晦日「の年二回、地域の恒例行事として多くの人に親しまれています。

住宅火災を早く知らせる

「住宅用火災警報器」を設置しましょう！

消防法及び津市火災予防条例により、すべての住宅に「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられました

来年6月1日までは、すべての寝室と2階以上に寝室がある場合は階段にも「住宅用火災警報器」を設置しましょう。

くわしくは消防本部予防課 254-0354

秋の火災予防運動特集



斜め展張したロープを使用して上層階の要救助者を救出する救助隊員(11/10 三重大学附属病院)



梯子車を使用して中高層建物の救出救助訓練を行う消防隊員(11/9 署長視閲訓練:久居署)



町内を防火パレードする高岡幼稚園児たち(11/9 一志町高野地内)



お遊戯しながら「火の用心のうた」を歌う幼稚園児たち(11/10 防火のつどい:白山体育館)



商店街の飲食店などを防火診断する中消防署員(11/14 大門商店街飲食店)



長谷寺付近で林野火災訓練を行う中消防署員(11/14 片田長谷町長谷寺付近)